

議会報告会での質問・意見及びその回答

平成29年11月13日(月)八幡西生涯学習総合センター(3階大会議室)

	質問・意見の要旨	議員回答要旨
①	<p>若者の政策形成過程への参画について、今回の選挙では、18歳の投票率が上がって、19、20歳の投票率が下がっています。ということは、学校で選挙の大事さや選挙に行く目的などを勉強したから伸びているんです。何もしないとダメです。考えさせる教育をしないといけないと思います。市に言ってもしょうがないので、国のほうに言ってください。</p>	<p>御意見として承ります。</p>
②	<p>放置竹林対策について、若松区に今、バイオマス発電が2カ所建設中ですけれども、あれに竹を使用できないか検討していただきたいと思います。 それと、放置竹林の面積が福岡ドーム何個分という表示がありましたが、せっかくミクニワールドスタジアムができましたから、ミクニスタジアム何個分という表示をしてはいいかがでしょうか。</p>	<p>若松で行われております火力発電は、石炭とバイオマスをを7対3の割合で使用する火力発電であります。今後の予定として、専焼発電というのも予定されているのですけれども、竹を使った発電というのは、今後の課題でありますし、市も一生懸命今研究を続けているところであります。実はこの研究も3年間で終わる予定でしたが、今後も更に研究を続けてまいりたいという市長の答弁でありました。</p>
③	<p>正規教員の割合の向上について、北九州市は他の自治体に比べると正規教員の割合がかなり少ない。教育を大事にすべきです。格差も広がっているし、教育に対してもう少し投資して、他の予算から持ってきて充当しないと衰退していく一方です。教育は根幹ですし、子供は宝であり、教育を強力に進めていくべきです。非正規教員が多いと責任問題などいろいろと問題があります。部活動など先生たちが時間外勤務で酷使されています。これは、全国的な問題であるし、北九州市もそうでした。教職員を充実させていかないと先が見えません。工場を誘致するなど箱物ばかりではなく、まず子供の教育を考えるべきです。そうしないと国が減びていき、技術革新もうまくなりません。教育に投資することは大事であると思います。</p>	<p>北九州市は、非正規教員が非常に多いのです。これは、一番大きな問題は、ことしになって北九州市にやっとな権限が移ったばかりなのです。昨年までは福岡県が正規何人、非正規何人というふうに決めており、ことしの4月からやっとな政令市にその権限が移り、北九州市が正規・非正規の割合をことしから決められるようになったということで、いわば、負の遺産を引き継いでいるわけでありまして。福岡県はちなみに現在日本で一番非正規の多い県なのです。北九州市もかなり多いのですが、ただ、本市の教育委員会はそのことを非常に問題視しており、正規教員をふやしていかないといけないということを、議会では質問に対して答弁しております。当面、90%、先ほど非正規611人いると申しましたが、数にすると120人でありまして。これを611人の非正規のうち、120人を正規にすれば、だいたい90%になります。これでも全国平均よりまだまだ低いのです。そういう意味では、教育委員会は努力すると言っておりますので、引き続き私たちは正規職員をふやせるように頑張っていきたいと思っております。</p>
④	<p>若者の政策形成過程への参画についてですが、選挙の投票率が低いということは、これは誰のせいかと言えば、議員のせいなんです。なぜかという、今日もこうして集まっているのは、自分は議員と話したのですが、今回の議会報告会を知っている人と知らない人がいる。ほとんどの人が知らないわけです。だからこれをわかるように、選挙のときだけ電話を一生懸命するのではなくて、議員がこういうことを知らせるべきだと思います。自治会は、門司区は20何カ所かありますが、自治会長に話をしに行き、月1回開催される自治会の会議で周知してもらおうなど、日ごろから関係をつくっておけばよいのではないのでしょうか。こういう場に来て、市民が議会や政治に関心を持つこともあるから、議員の方々が皆に知らせる状態に持っていくべきだと思います。お金を使わず頭を使えばよいと思います。</p>	<p>御意見として承ります。</p>

	質問・意見の要旨	議員回答要旨
⑤	<p>若松区東二島三丁目に浄土宗の徳雲寺という寺があります。つり鐘は教育委員会の指定文化財となっていますが、今現在、本堂は朽ち果てて屋根が落ち込んでいて危険な状態にあります。住職と総代が対立しており、檀家総代が10年以上開かれていません。市や市議会があっせんできないものでしょうか。</p>	<p>私は若松区選出の議員ですので、場所は確認しております。中にも入ってみました、屋根が朽ち落ちている状態でした。鐘自体は、文化財ということで、今は教育委員会の所管ではなくなっています。文化財としての保護がどうなるのかということ、私も投げかけているところです。何らかの回答を求めていきたいと思っております。</p>
⑥	<p>北九州市の住みやすさ向上ということで、50歳から住みたい地方ランキング1位、次世代育成環境ランキング1位、共働き子育てしやすいまち3位。なのに残念ながら北九州市は人口が減り続けております。全国的な問題でありますから、その影響だと思えますけれども、私は基本的には企業誘致をしなければ人はふえないと思っています。若松や門司の工業団地にはまだ空き地はたくさんあります。確かに風力発電の関連会社などが進出してきておりますけれども、工業団地の空き地の売却努力をもっとするべきだと思います。これに最善の力を入れるべきだろうと思います。自分は前から思っていました、サッカー場に100億円かけるなら、優遇措置を使ってここに企業誘致をすべきだったと思います。いかがでしょうか。</p>	<p>今、若松も門司も埋立地がありまして、そこに企業誘致を全力で取り組んでいるところがあります。現在、90%近くまでの売却を進めているのが実状であります。若松においては風力発電関連の企業、その前にはブリヂストンも誘致をしたところがあります。北九州市内に本社機能を移していただいた企業には、補助率を上乗せした補助制度もありますので、今後、企業誘致に更に努力していくということでございます。</p>
⑦	<p>北九州市はいろいろな問題があり、課題が多すぎると思います。それゆえに、短期・中期・長期と計画をきちんとたてられて、我々に示してほしいと思っています。北九州市は、2040年、50年には、人口が70万人台になると言われていますが、結果的には、小倉の城下町の時代は、3万人しか人はいなかったそうです。よって少子化の問題は全然問題ではなくて、それを生かす方がよいと思います。それには、北九州市と区役所の役割をはっきりして、考えていくところがあるのでないかと思えます。今後、市議会議員の皆さんは、道州制も考えないといけないし、今は小倉中心だがそのうち福岡中心となります。その時には、小倉は黒崎のようなさびれたまちになるので、そうならないように市議会議員の皆さんは知恵を出して、中期・短期・長期と計画を立て、皆さんで相談されて、我々市民に示してほしいと思います。</p>	<p>御意見として承ります。</p>

議会報告会での質問・意見及びその回答(当日回答保留分)

平成29年11月13日(月)八幡西生涯学習総合センター(3階大会議室)

	質問・意見の要旨	回答
①	<p>八幡西区山寺の皇后崎公園の陸橋のかけかえ工事について、今、地震などの災害対策としても陸橋はつくるべきではない。落ちたときは道を分断することになると、はつきりしているのに、必要ないのではないのでしょうか。誰一人利用していません。理解できません。公園を散歩する人たちに支障はないようです。必要のない高額な公共工事をなぜするのでしょうか。市長も市の職員もなぜ気づかないのでしょうか。市議会議員も傍観しているのではないかと思います。以前あったからつくるのではなく、何が必要かをよく考えてほしいのです。100%必要ないと思います。何千万円もかかるはずですし、今からでも工事を中止すべきだと思います。職員の再教育をするべきです。人口が減少し税収も減少している中、削るべき予算は削ることを学ぶべきです。市議会議員ももっと勉強すべきではないのでしょうか。</p>	<p>皇后崎公園は昭和47年に開設した地区公園で、春は桜が満開となり、この地区の花見の名所となっています。また既存の陸橋は昭和55年に設置され、分断されていた南北の公園が園路でつながれ、日常利用はもちろんのこと花見時には多くの利用者が行き来ができるようになりました。</p> <p>今回の中央町穴生線拡幅に当たって、陸橋の扱いについて、市が地域の方々と意見を伺う等検討を行い、南北の連絡手段がなくなると公園としての一体性がそがれること、他の方法では利便性がなくなることや広場の確保などにむしろ事業費がかさんでしまうこと、また、地元からの要望も大きいことなどから、陸橋のかけかえは必要であるとの結論に至っております。</p>
②	<p>税金の無駄遣いについてですが、門司区の花月園に、3年前から野犬がふえており、野良猫はたくさんいます。イノシシは少ないものの、担当者がとりに来てくれます。犬は、市がここ2カ月捕獲器を置いていましたが、全くとれていません。捕獲器を置く場所について、自分が市へ助言しましたが、捕獲できませんでした。自分が竹に網を張ったものをつくったら、とることができました。最後には、市からそこでとらせてほしいと言われ、網代と餌代等に6,000円ほどかかっており、町内会長から代金をもらっているため、市に実費をいただきたいと言ったのですが、指定業者からの購入ではないので無理だとのことでした。市は自分がつくった14~15mの網の中に、自分の許可なく捕獲器を置いていたので、市に電話して捕獲器をとりに来てもらいました。その際、野犬の状況をあまり把握していない様子でした。また、とれもしない捕獲器を20万円以上かけてたくさん置いているのは、税金の無駄遣いではないかと思います。</p> <p>また、地域猫の避妊手術件数の少なさには驚かれます。平成24年から平成29年までの5年間の避妊手術の件数は合計93件です。避妊手術の件数があまりにも少なく、税金の無駄遣いをしているのではないのでしょうか。</p>	<p>動物愛護センターでは、門司区花月園一帯での野犬捕獲をこれまで重点的に行っています。特にことし8月末から9月に花月園一帯の野犬の状況を調査し、土地所有者の許可等を得て捕獲器を複数設置して、現在も野犬捕獲に取り組んでおります。9月から11月にかけて、成犬2頭、子犬3頭を捕獲いたしました。今後も重点的に野犬捕獲に取り組んでまいります。</p> <p>また、地域猫事業として、飼い主不明の雌猫を市が避妊手術した上で町内に返し、町内で適切な餌やりやふん尿の片づけを行うなど猫を管理しながら猫の数を少しずつ減らしていくことで苦情を減らすという取り組みを行っています。避妊件数がふえない原因としては、活動者がいないなど町内や町内会長の同意が得られず申請を断念するケースや認定されても捕獲が困難な猫がいるためと考えられます。地域猫については、今後、より積極的なPRを行っていくほか、「人と動物の共生社会推進懇話会」等での市民の御意見をお聞きしながら、制度の見直しについても検討していくとのことです。</p>
③	<p>動物愛護センターの委託事業について、委託業者は3社で、1社当たり年間3,000万円の委託料。入札なし。これで野良犬など捕獲できたら問題ないのですが、近所の人たちは怖がっています。夜はほえる、ふんは汚いという状態です。</p>	<p>動物愛護センターでは、野良犬の捕獲のほか、傷病犬猫や自活できない猫等の引き取り、収容犬猫の飼養や譲渡、施設の管理、焼却や清掃などのさまざまな業務を委託しております。委託については、業務の専門性や特殊性、人命にかかわる犬捕獲の緊急性、経験や実績などから、他に履行できる業者がないか確認し、また、業務に必要な費用等を算定して毎年見直しを行って委託しています。今後も御指摘を踏まえ、野良犬の捕獲等に取り組んでいくとのことです。</p>

議会報告会での質問・意見及びその回答

平成29年11月21日(火)北九州市立大学(本館 C-303教室)

	議員回答要旨
<p style="text-align: center;">質問・意見の要旨</p> <p>① 若者の政策形成過程への参画につきまして質問させていただければと思います。北九州市においては若者の市政への参加の取り組みやさまざまな政策が行われて、確かな結果が出ているということは、理解できました。</p> <p>一方で、市議会議員の選挙を初めとして多くの選挙では、なかなか若者の参加が進んでいないというのも実情であるということは、意識の高い若者が参加するシステムはありながらも、そうでない若者がたくさんいるという現状が今でもあるのかなと私自身がお話を伺いながら感じたところなのですが、こういったさまざまな若者がいる中で、どうやって若者が参加していくシステムができていくのかということにつきまして、市議会の先生方の御検討でどのような議事が行われたのか、また、こういった問題に市民をどうやって巻き込んでいったらいいのかという検討がなされたかどうかにつきましてお伺いできればと思います。</p>	<p>議会のほうで検討があったかという話については、先ほどの市長質疑でそれ以上ほかの議員が議論したわけではないので、私見を踏まえてということで御了承いただきたいのですが、まさに今言ったとおりで行政が伝えようとする、伝えたいこと、皆さんが知りたいこととはギャップがすごくあるということを常々いろいろなところで思っております。行政は若者に参加してほしいと思って、若者の皆さんはそのことをどこで知ればいいのかということがあるのだろと思っています。まだまだ始まったばかりで不十分ですが、最初から選挙に行ってくださいではなくて、イベントとかまちづくりに参加していただいて、そこで実際に自分たちが動くことで何か変わったかそういう実体験をしていただくことが重要だということで、市長も答弁をされたのだと思っております。</p> <p>議論を聞いていると、それをどのように伝えていくのかということ自体が多分答えがまだ見えてないと思います。最後にありましたSNSを活用してというのがありましたが、10代20代の人たちにどんどん参加してもらって、どのようにSNSを活用したらいいのかのヒントをもらっていかないと、すれ違っていったままなんじゃないかと思っていますので、そういった意味でまだまだ試行錯誤の段階ですけれども、まずは意識が高い学生さんだけになるかもしれませんが、その皆さんからアドバイスをもらって、そうでない皆さんまでいかにしてつかまえていくのかということこれからまずやっていくところなのかなと思っています。まだ深い議論をそれほど何回もしたわけでは議会でもないのですが、今言った意見をどのようにしていくのか知恵を絞って、意見をいただければと思います。</p>
<p>② 正規教員の割合の御報告の件に関して、もしご存知でしたらお教えいただきたいのですが、資料を拝見いたしますと特別支援学校の正規教員の比率が73%ということで、やや少し低いようなんですが、何かこの背景等事情がおありでしたら。もともと全国的に特別支援学校というのはやや特殊ですので、その程度であるというのであればそうなのかなと思うのですが、もしちょっとこの73%という数字が資料ではわからないのですが、他の政令指定都市と比べて低いというようなことであれば、その理由について何かご存知でしたら教えてください。</p>	<p>教員はちょっと複雑で、皆さん御存じかどうかかわからないんですが、市立小学校とか市立中学校とかいうと、先生はみんな市の職員かと思うと思います。そうではなく、昨年度までは福岡県が給料を払っていたのです。北九州市は政令市ですので、ことしの4月からやっと北九州市に移管されて、市がことしの4月から給料を払うようになりました。ということは逆に言うと、去年までは福岡県が正規・非正規を決めていたのです。それでそのようになってるということなので、私たちはずっとふやすように県に言っていたのですが、そういう意味では負の遺産を引き継いだという形になっておりました、これからの課題というふうに認識し、北九州市は非常に問題意識を持っています。全国的には北九州市は正規の割合が低いです。非正規が多い。これはもう事実で、先ほど言いましたように今87.5%で特に特別支援学校は低いので、今後高めていきたい、90%までもっていきたくて今言っています。ところが93.1%が全国平均ですから、まだまだそれでも低いわけで、今後、議会のほうでも議論されていこうと思います。正規を高めていくことは重要だと思っています。あまり答えになっていないのですが、原因は、今まで県でしたので、県に聞かないとよくわからないということが実態です。</p>
<p>③ 教師の正規と非正規の人数の割合なんですけど、こういうのを実施するときに日程を決めてですね、何年何月何日までに必ず補充すると、正規を入れると、そういう確約をしたうえで実施しないとあいまいな答えではだめだと思います。結局、検討するとかなんとかじやなかなか進まないんですね、こういう問題は。ほかの事業については期限を大体切ってるんですね、何月何日までにやりますと。そうやっているのにこういうことについては期限が切られないということで、やはり議会の方で期限を切ってですね、責任をもってやっていくと、責任体制を作ってやっていくということにしないとまずいのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。</p>	<p>個人的な意見はあまり言えないので、私にも回答には限界があるのですが、先ほども申し上げましたが、ことし北九州市がやっと正規・非正規の割合を決められるようになったということで、教育委員会は問題意識を持っているということで、90%に向けて検討が始まった段階です。私自身は今お二人がおっしゃった意見はそのとおりだと思いますし、そういうことが今後進められていこうと、また、進めていかなければならないというふうに思っています。非常に参考になりましたので、今後の議会に取り上げていきたいと私自身は思っております。</p>

	質問・意見の要旨	議員回答要旨
④	<p>うちの子供が八幡西特別支援学校を卒業しました。非常勤といいますか、子供たちに一番接してほしい、時間を取ってほしいときに1年とか2年で担任が代わったり、うちの子供の場合は最後の卒業の年にいきなり中学校から来られた先生が担任になって、結局それまで専門的なキャリアを積まれた先生方に見ていただいた子供がちょっと厳しいような、最終的には何とかなりましたが、専門性を持ってほしいという意味でもやはり実際特別支援学校の先生に非常勤が多いというのは、ちょっと考えられない、恐ろしい状況ではないかと思えます。また生徒の数も近年ふえていますので、ぜひお願いしたいと思います。</p>	<p>(③と一括して回答)</p>
⑤	<p>空き家住宅の話が出ましたが、4～5年くらい前に北九州全体では500件と言っていました。今何件くらいあるのかというのを聞きたいのですが、それと今後は専門家を入れて解体できるような状態にもっていくようなことを言っていますが、専門家というのはいらっしゃいますか。</p> <p>門司の議員の方がいますけど、私のことはよく知っていますよ。私は空き家住宅を3件壊すような状態にさせています。考えてみたら、市の方は例えば空き家が危ないからといって税金でやっています。それはおかしいと思わないのですか。3年か4年くらい前に門司であったときに自分がやかましく言いました。町の真ん中に3階建ての木造の古い家が壊れかかっていた。市がそれを養生していて、それを見て自分が言いました。なかなか壊さないで、こういう会議のときに自分が行って話をしました。そして市会議員の悪口をたくさん言いました。そのあとすぐに壊して今は駐車場になっています。その養生もやはり市の税金でやっています。そこも早くバラせばすぐに売れるような土地なのに、何でそういうことをするのでしょうか。税金は自分で出すものでないからでしょうか。そういうような無駄遣いがあまりにも多すぎると思えます。今後の専門家は、どんな人が専門家なのか聞いてみたいです。</p>	<p>空き家は市では7万1,000戸あります。それから空き家は今回の議論の対象とは違って、空き家対策をとったのと同じような対策を崖崩れ等の対策でとれないかという議論をしたのであって、今回空き家についての議論は行っていません。</p>
⑥	<p>災害時の優先順位を決めるという話をしていたんですが、優先順位というのは何を基準にされるのかなと思ひまして、お尋ねします。被災された方が被害がどれだけの額になるのかというのを1軒1軒回って調査するというのは、それこそ遅れが出ると思ひますし、また死者が出てしまったりとか、そういう場合も含めてどういう基準で優先順位というのを決めていくのか、質問させていただきたいと思ひます。</p>	<p>市長質疑の際に、議員から要望として優先順位等という話があったのですが、既に個人で修復した方などとの公平性も保たなければならないということで、被災された熊本や朝倉、それ以外の広島といったところの先進事例を調べてほしいと、その上で優先順位をつける等方法があるだろうということで要望したということです。</p>
⑦	<p>教員の非正規を正規にするのはお金の問題で、財源をどのように確保するのかということにつながると思ひます。若者のことについてお話があって質問もあったのですが、学生の意識が高い低いという問題もありますが、学生の意識を高める教員の立場として言いたいのは、学生の経済的な状況がすごく厳しい、授業を受けている学生の95%以上はアルバイトをしている。しかも人件費が安い。それで学生にこういうイベントがあるから参加しなさいとも言いにくい。奨学金の充実によって学生がこういうことに参加できる環境をつくってあげたいというのが私の気持ちです。学生への奨学金制度を今後どうしていくのか知りたいです。</p>	<p>学生への支援という話になると広がってしまいますので、どうするかというのは議論は議会でもたくさんしています。奨学金の件も含めて学生に余裕がないという視点からすると、そのとおりなのかなと思ひます。私もインターンの大学生を毎年受け入れてますが、本当にアルバイトをたくさんして忙しいです。切り口はいろいろあると思うんです。さっき言ったのはイベントというのは余裕のある学生さんが行くのが多かったと思うんですけど、とても苦しい学生さんが何に対して関心があって何に困っているのかというのをもうちょっと私たちも把握しないと、議会で言っていないといけないうし、行政も把握して、今言ったようにお金がないんです、時間がないんですということは問題があると思うんで、じゃあどういふことを言えばそういう学生さんたちが興味を持ってきてこの場に来てくれるのか、アルバイトがたまたま休みだったら行ってみようかと思えるようなものにしていかなければならない。これはあらゆることだと思ひますけど、議会報告会もそうなんですけど、そこは私だけの分科会だけではなくてそれぞれが考えていかなければいけないうし、奨学金の件は承ってこの場では正直回答はできませんので、また後日他の議員にも伝えたいと思ひます。</p>

質問・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑧ ことしの5月11日の総務財政委員会に陳情して5、6人の方が陳情されたんですね。それで制限時間が5分ということで切られていたんですね。それで1、2分か3分ぐらいオーバーされた方がいて、その場合に議長がもう制限時間だからやめなさいと大きな声で言うんですね。市民参加の議会、市民参加を促そうとするならば、そういう陳述の場ですね、制限時間が先にあるようなことを言うんじゃなくて、丁寧にやっぱり話を聞くと。2分か3分ぐらいのことです。それで6人いたにしても18分、議会もそれぐらい聞いたからといって30分ぐらい余裕をとっていると思うんですよ。だったらそういう強権的なことを言うんじゃなくて、十分説明させる、陳述させるという態度で臨んでほしいです。もう一つはですね、昨年9月、210分、1人質問時間がありましたよね、質疑時間。そして、ことしは12月に105分になったんですね。これは自民党会派が2人以上の会派より1人の会派が質疑時間が多いという、去年8月に提案してるんですけど。ことしの6月になってさらに質疑時間が削られて60分になってるんですね。年4回ですから、1回の質疑時間がわずか15分、それも答弁を含めてですね。そうすると質疑する人が7～8分しかできないんですね。私が調べてみたら、年間議会があつてるのは半年ちょっとです。7か月に満たないですよ。本会議が昨年で23日、委員会等が102日、議会運営委員会が21日です。これだけしか議会ではやっていないんですね。だったらですね、全員が210分で私計算してみたんですけど、1回の議会で8日間延ばすだけでいいんです。そういうことはできずに、とにかく時間を減らすことしか考えてないような議会の運営になってるような気がするんですね。そういうことだけはぜひやめてほしい。そして十分意見交換ができるように質疑が十分できるような環境にもって行ってほしいということでお伺いしたいと思います。</p>	<p>口頭陳情については、今5分ということで決まっていますので、ここで何分にしますということではできませんけども、意見があつたということだけは持って帰りたいと思います。</p> <p>年に議会4回ありますけども、それぞれ議員が57名いて、それぞれの会派で代表質問、一般質問をするわけですけども、大体議員が1人当たり年間1時間ぐらいになるんですね。それで1人会派の方は1回で15分、年4回で1時間、1人当たりの時間にすれば年間1時間で変わらないですけども、今まで少数会派の人は1回の議会で30分、年間2時間近く質問ができたわけでありまして、大会派になると1人当たり年間1時間でありまして、そして1人の質問する時間というのはほぼ1時間で変わらないんですね。そして1人会派の方で年4回あつて1回に30分、30分の2回の選択もできますので、毎回議会では15分になりまして、これ4回を2回に分けて30分、30分で1時間という形も本人の選択でできますので。そういったルールで今回改正をしたと思つてますので、御理解いただきたいと思つます。意見があつたということだけは伝えたいと思つます。</p> <p>この中で私だけが議会運営委員会に入っていますので。議会運営委員会で去年そういうことが決まりまして、1つだけ報告しておきたいのは、ことしの選挙があつて新しい議員になりました。ことし議会運営委員会で1人会派の人の発言時間については、議会運営委員会の議題にも上がつておりまして、今後審議をしていくということで貴重な御意見としてお聞きしておきたいと思つますので、よろしくお伺いしたいと思います。</p>

議会報告会での質問・意見及びその回答

平成29年11月22日(水)議事堂(議場)

	質問・意見の要旨	議員回答要旨
①	北九州市の財政状況について、よいのか悪いのか全体がよくわからなかったので、現在どういう方向に努力中であるかなどをもう一度簡単に構わないので説明していただければと思います。	北九州市の健全化を判断する比率でいくと、北九州市は政令市では15位ぐらいです。この判断比率で早期健全化の基準でいくと11.25%とかです。ただ財政再生基準が20%とかあるのですが、北九州市はこれは黒字でありますので、この比率が入っていません。借金がふえて仕方がないというふうなことになる、皆様からの市税の収入をいただいたり、いろいろな諸収入を上げたりする必要があるのですが、今の状況であれば、50年連続の黒字なので、それはないということです。
②	教師が足りないという話が出てきましたが、非正規率が高くて、正規が低いということで、人数がそもそも足りていないとか。財政状況が黒字ということであれば、そちらの方に予算を振り分けられるという話になるわけでしょうか。	今まで教師の予算というのは県で管理していましたが、ことしの4月から北九州市に移管されました。今まで、嘱託の職員や非正規の先生方がいらっしやるので、そこを正規にして頑張っていたらこうということを検討しています。
③	北九州市議会で投票率を上げる施策はどのように考えられているのでしょうか。	議会で投票率を上げるための動きを直接行っているわけではなく、市の選挙管理委員会というのがあります。そこに対していろいろな働きかけをずっとしてきています。市の選挙管理委員会としては、若い世代の投票率が特に低いところを一つの課題というふうに見えており、有識者を集めて検討会議を立ち上げておまして、もっと投票しやすい形、例えば実際にあった取り組みでいうと北九州市立大学の中で投票できる仕組みを行ってみたり、今後の検討としては、駅やショッピングセンター等人が集まりやすい場所で投票してみてもどうか、また、若者だけではなく、例えば交通手段がなくなった高齢者の方や家が坂の上で遠いから行けないというような方々に対しても配慮できるような投票所の場所をふやすといったことができないか等、いろいろな議論を議会のほうでも行っています。これからもいろいろなアイデアを出しながら、議会でもしっかり議論していきたいと思っております。
④	欠員のため、無理して働いている教師に非正規が多いという話でしたが、先生たちの労働実態はどのような形で把握されているのでしょうか。また、定員の補充は要求されるのでしょうか。	教員の多忙化については、今全国的な調査が行われて、文部科学省が一定の指針を出しているところです。本市においても、教育委員会は個々の教員の在校時間を把握しております。在校時間が長いということも議会でも課題がなされております。そういう中で、先生の多忙化をどのように解消していくかということが今、教育委員会でも重要な課題として取り組みがなされているということで、ホームページ等々で見たいと思います。

	質問・意見の要旨		議員回答要旨
⑤	<p>若者が選挙に行かない理由は、二つあると思っています。一つは親が行ってないので、小さい時から行く姿を見ていないことだと考えられます。もう一つは、子供たちが新聞を読まないことです。スマホ等で調べるので、自分の興味のあることしかわからないというところが、問題ではないかと思っています。大学生の私から一つアイデアがありまして、新聞を読まない子供のために子供版の議会だよりを作るのがよいのではないかと考えております。実際に作成したものを小・中学校で活用することで、小さいころから身近に感じることができるというのがメリットだと思います。作成は大学生側に行ったら、いかがでしょうか。実際に大学生が議会だよりをつくることで、議会を知ることができ、作成編集するという面で、議会に興味がなくとも、メディア関係に興味がある人には知るきっかけになると思います。それらが学生につくらせるメリットになると思うので、提案させていただきたいと考えております。</p>		<p>御意見として承ります。</p>
⑥	<p>同じく大学生の身で質問させていただきます。自分はちょっと政治に関心を持っているので、同じ世代の人の投票率が低いというのはすごく寂しいことで、この件についてちょっと関心を抱いています。自分が同じ世代の投票率を上げるための活動をしていると、入場整理券が家に届いていない子が多いです。もともと北九州市立大学は外部から進学する子が多いので、どうしても住民票を地元のほうに置いてしまうことがあるのですが、そういった住民票を移すという啓発が大学内では4月の入学したときしかありません。入学したとき以外に住民票を移す啓発活動とか、議会として大学生向けに何かされているのでしょうか。</p>		<p>住民票の件は、議会でもその質問が出たことは記憶しています。議会からも要望もしていますし、市としても取り組んでいるのですが、それが多分足りないから、届いていないのだと思います。こんなやり方がありますよと教えてもらえたり、そういう場を教えてもらえるとありがたいと思いますので、よろしくお願ひします。大事なことだと思っていますので、しっかり住民票を移してもらえるように、頑張って議会からも言っていきたいと思っています。</p>
⑦	<p>自分は今回の議会報告会はここで3回目の参加となります。八幡西のときに若者の投票率の話をしていました。昨日の北九大での報告会のときは若い人ばかり来ていたのに、この話をなぜしなかったのでしょうか。そのときに言っていたら、若い人たちの考え方を聞くことができると思います。自分たちが学ぼうと思うのであれば、そういう若い人たちの考えを聞けるところで聞くべきだと思います。今日たまたま他の人が言いましたので、その選挙の話をしているということではだめだと思います。</p>		<p>御意見として承ります。</p>
⑧	<p>小倉南区の城野遺跡を後世に語り継ぐために、大手建設会社が市に無償譲渡した方形周溝墓を生かして、人々が集い、学び、歴史体験をできる本格的な遺跡公園として残すために議員の皆様のご理解と御支援をお願いしたいと考えております。北橋市政の時代に発見された城野遺跡を後世に残していただきたい。後世に責任を持って文化を守る市政としていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p>		<p>城野遺跡については、民間業者から方形周溝墓を緑地として無償譲渡するとの申し出がございました。城野遺跡の保存のための理解や協力をしっかりいただいております。また、民間事業者の開発申請や、工事の準備が進められているところであり、このような状況で、市としては玉つくり工房跡の保存に向けた協議を行うことは考えていないとは聞いております。しかしながら、貴重な御意見をいただいたということで、しっかりと受けとめたいと思ひます。</p>

	議員回答要旨
<p data-bbox="521 108 730 140">質問・意見の要旨</p> <p data-bbox="85 196 1126 379">⑨ 財政について、13億の黒字と言われても私たちは全然わかりません。そういうところが、市民に対して不親切ではないかと思えます。もう少しわかりやすく、短期・中期・長期のビジョンというか計画をきちんと述べられて、わかりやすく説明してほしいです。北九州市がこれから本当によくなるか、とても不安です。少子高齢化でよくなるわけがないとわかりますけれども、頑張ってください。政治家の皆さんを不信に思っています。信用されていませんから、ちょっと頑張ってください。</p>	<p data-bbox="1563 108 1731 140">議員回答要旨</p> <p data-bbox="1126 151 2152 426">北九州市は全国に先駆けて高齢化率が高いというのも御存じだと思うのですが、ある方に聞くと、北九州市はもう20年先をいっているということです。今、高齢化率でも30%を超えた区もあり、その方々を守りながら財政も大変厳しい状況ではありますが、皆さんの生活レベルを下げないことを念頭に頑張っております。今、北九州市は50歳代から住みたい町でも日本一になりましたし、子育てでも6年連続1位になりました、いろんな面で子育てしやすい町、住みたい町とだんだん評価が上がってきましたので、これを生かしながら、もっと人が入ってくる、そして皆さんが住んでよかったというまちづくりに議員と市の職員が両輪となって、皆さんの御期待に応えていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>